

JA全農福島 肥料農薬部 技術情報だより ～農薬情報編～Vol.3

いちごのハダニ被害を抑える防除技術！

トの過多など防除の困難さも課題となっています。



脇腹の黒いスジがハダニの特徴。

↑ハダニ食害痕（カスレ）

↑ハダニ

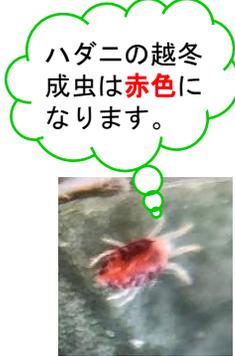
ハダニ防除の難しさ

ハダニはとても小さく

（0.5 mm程度）、風で飛ばされたり、人の体に付着して侵入してきます。また、自身の移動距離も大きく、1時間もあれば数メートル移動するため、**1日でハウス全体に広がる力**があります。さらに、繁殖力も強く、一時は少量発生程度であっても、数日で

大量発生いたします。発生したハダニは越冬しますので、1年通してどんどん被害が増えていきます。

農薬防除の面においても、ハダニの越冬する特徴のため**薬剤抵抗性の発達**がしやすく、より効果を示す農薬が少ない現状にあります。



ハダニの越冬成虫は赤色になります。



いちごハダニの天敵（農薬）



効果の高い薬剤の抵抗性発達を防ぐためにも、化学農薬のローテーション防除に加え、抵抗性発達の危険性が極めて低い天敵や気門封鎖剤を併せて使用し、**次のシーズンにハダニを残さないことが重要**となります。

ハダニ発生ピークのない防除体系！？

ハダニ発生ピークが一度でもあり、化学農薬でも天敵でも完全に防除するには時間がかかってしまいます。そもそもハダニ密度を高めない、発生ピークを作らない体系的な防除が重要となります。そこでJA全農では農薬メーカー5社の協力のもと、

育苗期から本圃栽培にかけて有効なハダニ防除体系の確立のため「**いちごハダニゼロプロジェクト**」を発足させ、日本全国での試験を行いました。その結果、ハダニ被害を抑えるには**育苗期から本圃定植初期におけるハダニ発生ピークを抑えることが重要**だとわかりました。今回ハダニ発生ピークを抑えるために、効果の高い「**化学農薬を用いてハダニ密度を低い状態にし、そこに天敵農薬を使用する**」こと、「**十分な量の農薬散布水量を遵守する**」ことで、長期間に渡ってハダニ発生ピーク

を抑える効果が確認できました。

天敵の効果を最大限に発揮する「バンカーシート」

バンカーシート（石原バイオサイエンス株）とは、天敵パック製剤を耐水性の紙製シートの中に入れて圃場に設置することで、降雨・散水・薬剤の影響を軽減させた天敵資材です。また、シート内にフェルトと保水材を入れることで、天敵の生存に適した環境を作り、産卵・繁殖を促進します。その結果、通常では定着しにくく効果が一時的な天敵が、1〜2か月ほど効果を発揮することができます。

さらに、天敵を保護する防除体系を取ること、より長期間に渡って効果が得られます。



農薬等のお問い合わせは

お近くのJAまで！

いちごハダニゼロプロジェクト

～ハダニ発生のピークのない防除プログラムの確立を目指して～

いちごハダニの防除は、化学農薬だけでは一度ハダニ密度を減らすことができても、生き延びた個体からまた繁殖し、再びハダニ密度が戻ってしまいます。一方で、天敵だけではハダニを食べ抑制するまでに時間がかかりすぎてしまいます。

そこで、天敵放飼時にハダニ密度を下げておくことで、シーズン通してハダニの発生ピークを作らない防除プログラムを作成いたしました。育苗期および定植直後のハダニ防除の重要性高く、特に前年にハダニが多発生している場合は、育苗期から天敵資材を使用することをお勧めします。また、部分的にハダニの発生が見られた場合は、気門封鎖剤の局所散布や、チリカブリダニ資材のスポット放飼が有効です。

育苗期～定植～ミヤコバンカー設置までの防除プログラム（5月上旬～11月上旬）

防除時期	天敵放飼・薬剤防除等	防除のポイント
5月上旬	アグリメック X1000	必須防除
5月中旬	ミヤコバンカー 100個/10a苗分	前年ハダニ多発圃場のみ
6月中旬	気門封鎖剤	臨機防除（ハダニスポットがあった場合）
6月下旬	グレーシア乳剤 X2000	必須防除
7月中旬	気門封鎖剤+卵活性のあるダニ剤	内1回は必須防除
8月中旬	気門封鎖剤+卵活性のあるダニ剤	（卵活性をダニ剤は抵抗性の有無を考慮）
8月下旬	アグリメック X1000	必須防除
9月上旬	モベントフロアブル X250	必須防除 25ml/株 灌注処理
9月上旬	本圃定植	
9月中旬	気門封鎖剤	臨機防除（ハダニスポットがあった場合のみ）
10月上旬	ダニオーテフロアブル※1 X2000	必須防除
10月中旬～11月上旬	ミヤコバンカー 100個/10a （畝マルチ展張直後）	必須防除 ハダニスポット残っていたら200個/10a +チリカブリダニ（スポット放飼）

※18～10月に銅剤使用の防除暦の場合、

- ・ 10月上旬「ダニオーテフロアブルX2000」⇒「気門封鎖+ニッソラン水和剤X2000（臨機防除）」に変更
- ・ 12月中旬「ダニオーテフロアブルX2000（必須防除）」を追加

- ・ 気門封鎖剤

サンヨール乳剤※2	×500	収穫前日まで	6回以内
サフオイル乳剤	×300	収穫前日まで	—

（天敵放飼前に限り）ハダニが多発生の場合は、2週連続散布をおススメ

※2サンヨール乳剤は銅剤ですので、ダニオーテフロアブルの散布は2か月以上間隔をあけること。

- ・ 卵活性のあるダニ剤

ニッソラン水和剤	×2000	収穫前日まで	2回以内	天敵影響 少
サンマイトフロアブル	×1000	収穫3日前まで	1回	天敵影響 大

サンマイトフロアブルは天敵影響が大きく、バンカーシート設置3週間前までしか使用ができない。

⇒7月～8月の殺卵効果のあるダニ剤として使用可能！

各農薬についてのお問い合わせはお近くのJAまで！